

本年度の重点目標		1 子どもたちが健康で安全に学校生活を送り、保護者が安心して登校させることができる学校 2 一人一人に応じたきめ細やかな教育と自立を目指した指導・支援の推進 3 特別支援教育におけるセンター的機能の充実と地域に開かれ地域と協働する学校 4 実効性のある働き方改革の推進	
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
小学部	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な教育環境 学校卒業後に向けた系統的な学習の取組 交流及び共同学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な学習環境の整備と健康管理における関係者の連携 人と関わる力や自己を表現する力の育成（各教科の内容を踏まえた指導の充実） 直接交流の再開及び交流活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 教室内の整理整頓、学習環境の設定及び換気の徹底、けが等の防止等を共通理解を図り行っている。 部研究の実施やまとめを通じ、各学年で系統的に各教科の内容の充実や意義を共有できた。 学校間交流は浄水小から前年度より多い人数の児童が来校し、直接交流の充実を図ることができた。
中学部	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な学習環境の整備 卒業後の生活を見据えたキャリア教育の推進 地域資源を活用した学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 健康、安全に関する情報や、ヒヤリハット事例等の共有、迅速な対応・改善 卒業後に求められる人と関わる力やコミュニケーション力等の向上を目指した授業実践 交流相手校と目的、目標を共有し、活動内容の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 健康、安全に関わる情報を共有し事故防止、再発防止に努めた。大きな事故は発生しなかったが、引き続き職員の危機管理意識を高めていきたい。 日々の授業実践を通して生徒の関わり方に広がりやコミュニケーション力等の向上が見られた。 交流相手校が来校しての直接交流とリモート交流を合わせて、充実した交流が実施できた。
高等部	<ul style="list-style-type: none"> 健康な生活を実践する意識の醸成 自立と社会参加に必要な能力の育成 地域社会との交流の積極的推進 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な教育環境と関係者の連携した健康管理 卒業後の生活に直結する学びに向けた目標設定 周囲と適切に関わる力、気持ちを表現する力を引き出すスモールステップの目標設定 地域社会との協働を、交流活動や啓発活動、出前授業、スポーツ活動を通して具現化 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症に対する注意をその都度共有し、感染拡大防止意識を高め、実践できた。 生徒個々の課題を明確にして指導方法の共有を進めることで、学習の成果を高めることができた。 地域の協力を得て収穫した野菜を学校給食に取り入れる等、協働を進めながら、その成果を学校内外で共有する段階に進むことができた。
総務部	<ul style="list-style-type: none"> 各種儀式や行事等の計画運営と業務内容のスリム化 	<ul style="list-style-type: none"> 新たなガイドラインに沿った計画立案や管理職、分掌等と連携した運営 業務内容の精選、効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 各種儀式、行事等マニュアル化、フォルダの整理を進めた。 細かな内容の見直しにより改善を図れた。今後も精選を継続したい。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づく授業実践の推進、定着 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科における見方・考え方についての情報発信 年間指導計画の様式変更による教科横断的な視点の定着と、教科指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等を合わせた指導における教科指導の重要性や根拠等についての理解の定着を進めることができた。今後は、教科指導の実践・共有を図り、充実した授業改善につなげたい。
研修部	<ul style="list-style-type: none"> 職員の資質・能力・意欲の向上につながる情報や機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が主体的・対話的に深く学び合える研修の機会や方法の検討と提供 肢体不自由教育の専門性向上に重点を置いた学習機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 研修や教材研究おすめの書籍やネットサイトの案内をC4thや掲示板で適宜行うと共に、研修会参加者の資料や報告メモを閲覧するなど職員の学習機会向上につなげた。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 会話補助機器の充実、情報発信 職員のICT機器活用能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 教員向け研修やC4thを活用し、校内のICT機器やアプリの使い方等を情報提供することができた。今後も継続した情報提供や保管場所の整理を行い、情報機器を使いやすい環境を整えていきたい。
指導部	<ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯訓練の強化に努め、全体の防災・防犯意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者を交えた引き渡し訓練や実行力のある防災、防犯訓練を提案、実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の被災を具体的に考える」講演会や保護者引き渡しを想定した訓練、保護者引き渡し訓練を実施したことで、多角的な意見を取り入れ、職員間、保護者間で災害に対する意識向上を図ることができた。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 教職員、保護者への進路や将来の生活に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員対象に進路や将来の生活に関する情報提供や学習会の実施 保護者対象に進路説明会や関係機関と共催での学習会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員対象に夏季休業中に将来の生活に関する学習会や定期的に情報提供を行うことができた。 関係機関と連携して、保護者へ将来の生活に関する情報提供や学習会を行うことができた。
保健体育部	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心に学校生活を送るための環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな活動の再開に向け担当と連携をとり安全に進めていく。 新しい看護員の体制での安全な医ケアの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 温水プール指導、泊を伴う行事を安全に再開できた。 指導医と連携して助言を仰ぎ、看護師が安心して医ケアを実施できる体制の構築を図っている。また、次年度の体制についても早くから検討を始めている。
自立活動部	<ul style="list-style-type: none"> 外部専門家や校内の人材を活用した自立活動の専門性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 情報交換会、研修会、新転任研修を通じた情報発信 プール指導において、備品の整備や指導法の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 臨時の情報交換会を設定するなどPT・OTと連携して福祉機器の調整や指導法の助言を仰いだ。 職員の興味が深い研修の講師を探し、依頼するなど来年度に向けた研修会の準備を進めている。
教育支援部	<ul style="list-style-type: none"> 巡回相談等で地域のニーズを収集し必要とされる特別支援の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 要望に応じて必要な研修会を実施 特別支援教育の指導方法や進路等について学校HPやPOTETOなどで情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の小中学校の教員を対象に授業研修を実施できた。POTETOに進路指導についての情報提供することができた。今後も小中学校の指導に生かすことのできる情報発信を行っていく。

